

NIE 教育に新聞を

新聞読んだ考えた

2022年9月27日付22面「シューズも脱炭素

八戸学院光星高2年

わたなべ ゆな 穂愛さん



【化】 スポーツ用品メーカーのアシックスとミズノが、脱炭素化に向けて製造、輸送など各工程における温室効果ガス排出量を抑えた新作シューズを相次いで発表した。植物由来やリサイクルした素材を使用し、環境意識の高い消費者への訴求力を高める。

「シューズも脱炭素化」という見出しを見て、さまざまな業界で、環境問題への取り組み意識が格段に上がってきていることを実感しました。

素材や製造過程を工夫して環境に配慮する取り組みは、使い捨てプラスチックのストローやスプーンなどの小さなものから始まりました。そこにシューズが加わったことで、さらに多くの製品で脱炭素化への期待が高まるでしょう。

記事に出ているシューズ

環境に配慮した製品買う

は、デザイン性は良さそうですが、履き心地が気になります。脱炭素化に向けて素材を木にしたスプーンは「折れやすくなった」、紙製ストローは「飲み物の味が損なわれる」と話題になりました。このように、素材や製造過程を工夫した結果、スペックが低くなってしまいう事例がいくつかありました。

もし、今回のシューズが従来品と同じスペックを保つことが出来ているのであれば、これから脱炭素化を考えている企業の希望になると思います。

消費者側も、環境に配慮した製品を買うことで脱炭素化に貢献できると思うので、私も積極的に買うようにしたいです。